

上部内視鏡検査（胃カメラ）

【検査方法】

上部内視鏡検査は先端部にライトと CCD が取り付けられたカメラを使用し、食道、胃、十二指腸を直接観察する検査です。胃粘膜の僅かな変化も鮮明な画像で映し出すことができます。内視鏡挿入時間は 5~7 分程度で、終了後に医師から結果を説明します。

当センターではゼリー状の麻酔薬を使用して、鼻またはのどに麻酔を行い意識のある状態で検査を受けていただきます。よって検査終了後の日常生活は普段通り行って頂くことができます。

胃カメラの挿入方法は、経鼻または経口を選んでいただきます。
※経鼻を希望されても、鼻の状態によっては経口検査に変更させていただく場合もあります。

【経鼻内視鏡のメリット】

内視鏡の太さは 5 mm 程度と細く、ほとんど吐き気をもよおすことなく検査を受けることができます。また口を自由に動かさめますので、検査中も会話が可能です。

【こんなことがわかりますよ】

- ・ 上部消化管（食道・胃・十二指腸）に発生した潰瘍、炎症、腫瘍、ポリープなどが発見できます。
- ・ 細胞を一部採取（生検検査）し良性や悪性といった鑑別診断が可能となります。

【注意事項】

- ・ 前日の 21 時以降は絶食となります。ただし、薬の服用は起床後すぐにしていただいても構いません。
- ・ 医師の判断により検査時に細胞採取（生検検査）を行うことがあります。生検検査は別途追加料金が発生いたします。生検検査をした場合は、食事や運動の制限があります。
- ・ 当センターでは抗凝固薬・抗血小板薬を服用されている方の生検検査は行いません。内服の中止をせずにお越しく下さい。
- ・ 経鼻内視鏡実施に伴う鼻出血を起こすことがありますが、あらかじめご了承下さい。

【オプション検査】

ヘリコバクターピロリ抗体 I g G 検査 ¥1500+税

ピロリ菌に感染した胃は「慢性胃炎(ピロリ菌感染胃炎)」となり、そのまま放置しておくと胃がんになる可能性も高くなります。ヒトはピロリ菌に感染すると、抵抗力として菌に対する抗体をつくります。この抗体の有無を血液検査で調べることができます。胃カメラ検査後の追加も可能です。今までにピロリ菌検査を受けたことがない方には、一度調べてみることをお勧めします。

